上流県「ながの」から海をキレイに

いま、わたしたちにできること



私たちは、川を通して 温とつながっている

長野県は海に面してはいませんが、千曲川や天竜川など、日本海や太平洋につなが<mark>る8つの川の</mark> ばんりゅう 源流があります。長野県で降った雨も、山で倒<mark>れた木も、あ</mark>やまって用水路に<mark>落としたごみも、</mark> 川を通って海に運ばれてしまいます。海洋ごみのほとんどは、くらしに身近な、私たちが使っ たあとの生活ごみ。8つの源流を持つ長野県は、海洋ごみと決して無関係ではありません。

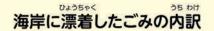


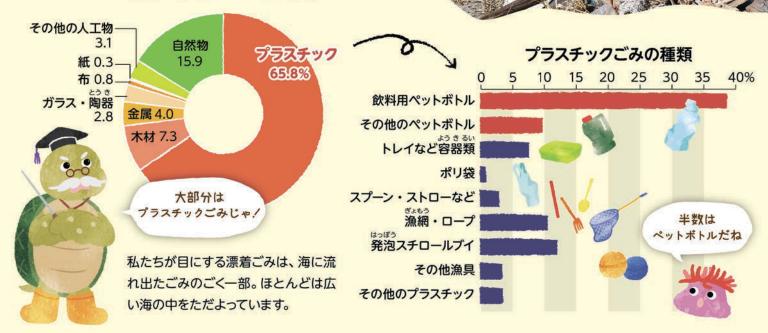


海洋ごみはいま、 世界的な大問題

▽海岸は、ごみでいっぱい/ ~

夏の海水浴場でこんな光景を見ることはありませんね。それは、 シーズン前に海岸をキレイにそうじしているから。全国どこの海 岸も、実は私たちのくらしから出るごみでいっぱいなのです。





出典 平成30年環境省 「海洋ごみをめぐる最近の動向」 より作成。全国10か所の海岸で調査した結果の合計、いずれも個数。

世界の陸上で出たプラスチックごみのうち、毎年およそ800万トンが海に流れ出ています。今 から30年後の海は、魚よりもプラスチックごみの量が多くなってしまうと予測されており、 海洋ごみを減らす取り組みが世界中で始まっています。



CHANGE FOR THE BLUE

海洋ごみが 海の生き物たちを苦しめる



CHANGE FOR L

プラスチックは人の口にも





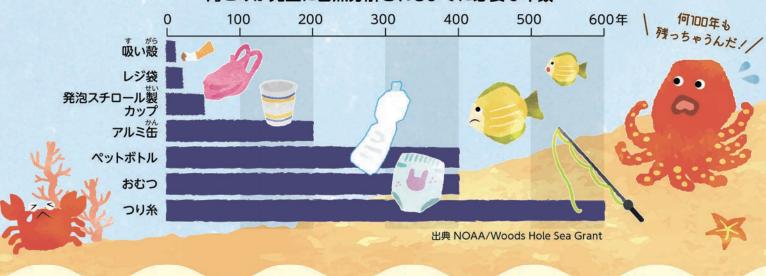
プラスチックは とっても長持ち





プラスチックはすぐにバラバラになりますが、マイクロプラスチックとなって残り続けます。 完全に分解されるまで、ペットボトルならおよそ400年。アルミ缶の2倍も長持ちです。プラスチックが発明されて100年ほどですから、海をただようプラスチックは増える一方なのです。

海ごみが完全に自然分解されるまでに必要な年数



CHANGE FOR 5

こんなに身近なプラスチック

あなたの身の回りに、プラスチック製品がどれだけあるか探してみましょう。



プラスチックはどんな形にもできるとても便利な素材。ですが、金属やガラスなどのようにくり返し使うことには向いていません。くらしの中で使い捨てはなるべくさけると同時に、捨てるときはきちんと分別を心がけ、かしこく使いましょう。

CHANGE FOR THE BLUE

4尺で上流ながのからごみ



くます。 今日から 自分ができることを 書いてみよう! げん りょう

減量。今から一人ひとりができること



長野県は一人あたりのごみ排出量

6年連続全国最少!

2014年~2019年度 (環境省調べ)

全国に先駆けてごみを減らすさまざまな取り組みを重ね、

長野県はいま「全国一ごみの少ない県」となっています。

ごみを出さない「長野県らしさ」を広げて 海をキレイにしましょう。





ながの海ごみゼロプロジェクト

ながの海ごみゼロプロジェクトは、日本財団が推進する 「海と日本プロジェクト」の取り組みの一環として行っています。 上流県"ながの"から、海洋ごみ対策の モデル作りを進めています。

【監修】 全国川ごみネットワーク

(協力) 長野県環境部

【お問い合わせ】
ながの海ごみゼロプロジェクト実行委員会
〒380-8633 長野市岡田町131-7 長野放送内
TEL 026-227-2059 E-mail umi@nbs-tv.co.jp

